

6月定例会 [6月21日]

豊富町議会からのお知らせ

6月定例会特集	2
議会が町のコトチェック	4
一般質問	6
議会レポート	8
豊富高校3年生議会傍聴	10
みんなで学ぼう!議会のコト	12
議会からのお知らせ	14
気になるアノ人に聞いてみました!	15
高校生の声・中学生の声	16

「議会とよとみ」はスマートフォンでも見られます



議会 とよとみ

豊富町議会広報誌





物価・資材高騰に対する支援を

食料安全保障の強化を図る意見書提出



提出内容

意見書第2号

食料安全保障の強化を図る新たな国の予算確保と国民への理解醸成を図る意見書

世界をめぐる情勢は、新型コロナウイルス終息後の需要回復を見込んだ原油等の価格上昇やロシアによるウクライナ侵攻の長期化などにより、原油・生産資材や穀物相場の高騰が続いており、各国では、国民生活に必要な食料の安定供給を図る食料安全保障を最重要課題として自国の食料生産の施策を強化しています。

しかし、日本では、人口減少や近年多発する自然災害などにより、第1次産業を主体とする農村地域においては、食料生産の基盤が脆弱化しており、さらに、食料やエネルギーを輸入に依存しているため、食料品等の値上げが相次ぎ、国民生活への影響が懸念されていることから、食料の安定供給と農業の持続的発展のため、新たな施策と予算の確保について要望します。

提出先

衆議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、農林水産大臣

こちらをご覧ください！

議員の賛否



意見書



豊富町に住む皮膚疾患で悩む子供たちへ

豊富町ふれあいセンター 使用料減免規則の一部改正



規則改正

本規則は、ふれあいセンター使用料減免等に関する必要な事項を定めており、入浴料の免除については、湯治留学移住支援事業に該当する町外の方のみとなっておりますが、この度、豊富町内に住み皮膚疾患で悩む高校生までの子供も入浴料が減免となるよう、規則の改正を行いました。



住宅建設の促進を目指し

豊富町サロベツ住宅建設促進条例の一部改正

本条例は、住宅の建設促進対策として、必要要件を満たした住宅の建設費の一部を補助するために設けておりましたが、近年、資材の高騰や高齢者世帯等によるコンパクトな住まいづくりのニーズの高まりにより、条例の面積要件の緩和を以前より求められていました。

現状のサロベツ住宅及び一般住宅共に、面積要件を80㎡以上としていましたが、これまでの要望を受け、サロベツ住宅と一般住宅の面積要件を分け、一般住宅においては50㎡以上のものと改正しました。



Question ?

「サロベツ住宅」ってなに？

地域の素材を活用し、住宅の性能や機能、住まい方を定めた「豊富町サロベツ住宅建設基準」の必要要件を満たした住宅のことです。

サロベツ住宅の基準は、豊富町サロベツ住宅コアスタッフ会議（つくり手、住まい手、専門家、行政）及び技術協力、支援して頂いた北海道の研究機関の協力を得て作られたものです。

こちらをご覧ください！

豊富町サロベツ住宅
建設支援事業制度



6月定例会

町民の利便性に合わせた条例・規則の改正を実施



町長から提案された予算案等は、総務産業常任委員会・予算決算常任委員会で慎重に審議が行われます。「豊富町はどうなっている？ 私たちの税金はどんな」に使用されているのか？」委員会では、そんな疑問を解消するため議員から町の執行部へ様々な質問が投げかけられます。実際に行われた議員の質問と町の回答を一部ご紹介します。

豊富町サロベツ住宅建設促進条例

Q 珪藻土を使わなくてはいけない理由は？

豊富町サロベツ住宅建設促進条例の建設基準に珪藻土の使用が条件としてあるが、これを使用しなければいけない訳は。

A 社会資本整備総合交付金を使用しているため

この条例は社会資本整備総合交付金を使用しており、この交付金の要件として北方型住宅の基準を満たす必要があり、この基準の中には「地域の資源を積極的に活用する」という一文があることから、稚内層珪質頁岩（珪藻土）を使用しなければ、交付金を受けることができないため。

Q 町内業者でなければ助成は受けられないのか

町内の大工さんは、なり手不足により年々減っており、仕事量も多いためすぐには建てられないという声も聞いているため、このままでは需要と供給が合っていない

と思う。今後、町外業者にもお願いしても助成が受けられるような条例の見直しはしないのか。

A 町外業者であっても助成できるよう検討していく

基本的に、まずは町内業者にお願いし、町内での仕事を請け負っていただくことで税収増に繋がるなどのメリットもあるが、今後、町内業者の減少も見込まれることから、将来的には町外業者であっても助成が出来るよう検討していきたい。



子育て世帯生活支援特別給付金事業

Q 家計急変者の基準は？

「家計急変者」となっているが、

事業所のガスの使用料はいくらになるのか。

A 既存事業所は年間約28万円の増額、新規事業所は約44万円

今回の工事は、既存事業所の改修工事と新規の供給となっており、既存事業所については、現在ある機械の更新のため1・1倍の約28万円増額、新規事業所については、年間44万円の使用料になると見込んでいる。

Q あまり増額しない理由はあるか？

既存事業所については、事業所建て替えに伴う機械の改修工事であるが、1・1倍しか使用料が増額しないのはなぜか。

A 暖房効率が良くなり少ない燃料で済むため

使用機器の更新や施設が新しくなると、暖房効率が良くなりあまり燃料を使わなくなるといった例が過去にもあるため、大幅な増額は見込めない。

どのような基準で判断しているのか。

A 令和4年1月以降、家計が急変し非課税相当と認められる方を対象とする

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和4年1月以降の任意の1ヶ月間で収入が急激に落ちた方を対象としている。

Q 分かりやすい文章作成を

特に給付金関係の文章は、行政用語が使用されているため非常に分かりづらい。町民の誰が見ても分かりやすい文章を作成してほしい。

A 事例を載せて作成する

今後は、町民の方が分かりやすいように、多くの事例を載せる等工夫をして配布する。

風力発電事業

Q 町民からは理解してもらえないのか

風力発電の事業が町内の新しい地区で始まるが、地区の町民からは、風力発電の設置場所等で反対の意見も聞こえてきている。町民から理解をしてもらえているのか。

A もう一度、住民説明会の開催を依頼する

住民説明会は行っているが、まだ町民との話し合いが足りていない可能性もあるため、もう一度話し合いができる場を設けてもらえ

簡易水道事業

Q 道路の維持管理はどのように行うのか

水道工事により道路に穴が空いており、補装もされず危険であるが、道路の維持管理についてどのように考えているのか。

A 事故のないように管理をしていきたい

現在、水道工事跡については補装の発注をしているが、まだ実施されていないため、その間に砂利が不足していたら適宜砂利を足して、事故のないように管理をしていきたい。

ガス事業会計

Q ガスの使用料はいくらになるのか

工事請負費の補正予算を計上しているが、この工事後における各

議会とよとみ表紙写真募集中！

豊富町議会では、豊富町で撮影した写真及びメッセージを募集しております。ご応募いただいた中から選考し「議会とよとみ」の表紙写真とさせていただきます。たくさんのご応募お待ちしております！

応募資格 豊富町の写真を撮影した方

募集内容 風景・人物問わず豊富町で撮影したもの。豊富町を元気にする写真と100文字以内のメッセージを募集します。笑顔になれる大人や子供の写真、心癒される風景写真などお待ちしております！サイズはできるだけ大きく、ファイルはJPG形式でお願いします。

募集期間 随時募集

応募方法 下記アドレスに、件名「議会とよとみ表紙写真」と記入し、本文にメッセージと連絡先（住所、氏名、電話番号）を記入の上、写真を送付してください。
gikaijimukyoku@town.toyotomi.hokkaido.jp



水戸部 正博 議員

テレビの受信障害地区対策について問う！

答 国・道の補助制度を精査し適切に対応していく

【質問】 3町内地区の一部と温泉地区において受信障害対策のための共同アンテナが設置運営されていますが、これまでも国や豊富町などの助成と設備利用者の会費等で維持されてきました。今現在は、支障なく稼働しています。今後の予想されるメンテナンス費用について住民が不安を感じています。近年は、様々なメディアがあります。テレビは、いまだに一般住民にとって、最も必要とされている情報源だと思います。災害やその他突発的な事象などの情報を入手するのに大変重要なアイテムでありますし、一般の人々は電波をほぼ無償で享受出来るわけです。総務省の対応とも合わせて、町の方針をお伺いします。

【答】 本町における「テレビの受信障害地区対策」につきましては、山陰など地形的な影響により受信が困難な地区が、3町内と温泉地区の2地区にあり、それぞれテレビ共同受信施設を設置し、難視聴解消を図ってきているところです。テレビは気象警報や災害など地域住民の皆様の生活に密着した情報を得る上で貴重な媒体であり、安全・安心な暮らしを守るためにも視聴環境の整備

は重要であると考えています。両地区のテレビ共同受信施設も、整備後年数が経過していることから、今後予想されるメンテナンス費用等について、国・道等の補助制度などを精査すると共に、施設利用組合の皆様とも協議を行い、適切に対応していきます。

一般質問とは？

議員が町の事務の執行状況や将来の方針について町長などに説明・報告を求め、町が町民のための適切な町政運営を進めているかを確認するものです。今回は2名の議員から一般質問が提出されたのでご紹介します。



【再々質問】 もう少しわかりやすく、これからの町の施策について具体的にもう一度答弁をお願いします。

【答】 今後の取り組みとしては、農家の皆様からご要望をいただいた光ケーブルの申込が7月より始まり、8月から9月頃には各家庭に繋がる予定です。

また、水産業にも対応するため、稚咲内地区の水産業の担い手確保や、稚咲内地区の再整備のため、来年度には稚咲内生活館の工事も始まります。地区での産業がしやすくなるようにこれからも力を入れていきます。



鎌倉 和雄 議員

主要産業支援策について問う！

答 今後のコロナや物価高騰の影響を考えながら対応していく

【質問】 新型コロナウイルスやロシアのウクライナ侵攻により、豊富町の基幹産業である酪農業及び観光業は危機的状況にあります。国の施策だけでは、酪農業・観光業が疲弊することから、豊富町として新たな事業方策など、対応や支援をすべきと考えますので、町長の意欲にあふれた事業施策について伺います。

【答】 現在、原油価格・物価高騰など地域経済への影響が出てきており、本町の酪農業においては、飼料価格が前年比50%の値上がりとなるなど経営的に苦しい状況となっています。町としては、国に対し、より一層の支援対策と飼料等の価格安定対策などを要請するとともに、関係機関等と連携を密にし対応していきます。

観光産業については、令和3年度全体での観光客入込数は、豊富温泉、サロベツ湿原、兜沼公園を合わせて124,268名でしたが、この内、豊富温泉の入込客数は、90,470名で前年度比116%となっており、風力関係事業者の滞在先として、ホテルや旅館を利用して頂いたことが増加の要因ではないかと推測しています。しかし、従前の状態に戻るには時間がかかることや風力関係の工事終了後の入込について、どのようになるのか

危惧しているところです。町としては、これまで「豊富町商工業活性化事業」や「感染防止対策支援事業」等を実施し、事業者への支援を行ってきました。今後、コロナ感染症や原油価格、物価高騰の影響も考えあわせ、関係団体等のご意見も伺いながら対応していきます。

【再質問】 国や町で今まで行った政策ではなく、町として新たな政策を行わなければ主要産業は疲弊していくため、今後どのようなことを行うのか伺います。

【答】 今考えているのは、物価高騰の観点から、町民の皆様へ商品券の配布を検討しています。酪農業については、事業規模が大きいため、どの程度のことができるのか模索している最中ですが、関係団体等と連携しながら国への要請を行っていきます。

観光業については、観光協会と連携しながら、ワーケーションやテレワークに力を入れて、豊富町の魅力発信に努めていきます。

こちらをご覧ください！

第2回定例会議事日程



議会レポート

[参加議員 計6名]
 ・佐々木政義・水戸部正博
 ・千葉久・小笠原照美
 ・佐々木誠・竹中隆浩

たんぽぽの会と懇談会を行いました!

5月18日にたんぽぽの会より4名の方にご出席いただき、懇談会を行いました。
 今回の懇談会を通して、酪農業は「男性が主体となり働く」という意識が未だ残っており、家族経営なのいろいろな場面で女性が差別されてしまうといった、女性ならではの悩みをお聞きし、女性も主体となり酪農業に取り組みやすい環境の整備が今後の課題であると知ることが出来ました。
 また、酪農だけでなく、幼保三元化のこども園等の設立や奨学金制度の改善による教育の充実について、他にも様々なご意見をいただきました。
 本町の基幹産業である酪農の更なる発展と、町外及び道外からより多くの人が訪れる町になるよう議会同努めてまいります。



感想 佐々木誠 議員

たんぽぽの会は、道外出身者で本町の酪農家に嫁いだ皆さんの親睦、情報交換などを目的として組織された会でありま
 す。
 今般、この会の皆さんと懇談する機会を得ました。出身者は多方面にわたり、育った環境等の違いもあり、様々な内容の意見がありましたので、その一部を報告します。
 ・豊富町の印象として考え方が保守的である。
 ・青年部、女性部など男女別の会があり、お互いに理解できない部分が多い。
 ・みんなで交流できるイベントが少ない。
 ・新規就農の場合わからない部分が多いのもっとみんなで集まって話したい。
 ・豊富町は酪農業に対する助成や補助は手厚いので、今後は安心して農家を継続出来るように農家同士の繋がりや先輩酪農家の指導が受けられる体制を町やJAが工夫してほしい。
 以上、このような意見がありました。これらの意見を活かしていけるよう、議会活動に努めてまいります。

感想 竹中隆浩 議員

たんぽぽの会は、豊富町の農家へ嫁いだ人、新規就農で農業を始めた北海道外から来た女性の会で、慣れない環境で不安や孤立などをサポートするための宗谷農業改良普及センターの計らいで出来た会だと聞いています。
 男性が主体ではなく、女性が積極的に農業に取り組める時代へ移り変わっている印象や、安心して酪農を続けられるように勉強会や農家同士の繋がりを町や農協で斡旋する等の工夫が施されると豊富町の酪農は更に発展していくと思います。



議員が町をより良くするために真剣に議論をしている姿がかっこよかったです。

高校生議会では、自分の「豊富町」について思っていることをしっかり言えるように頑張りたいです。



町長と議員の話し合いの中で出ていた考え方に共感でき、ためになることを話し合っていました。

豊富町の予算や様々な状況について知ることができて良かったです。



難しい言葉が多く、議論の内容について分からないことも多かったが、自分の身の周りの内容についての議論をしていたのでとても興味深かったです。



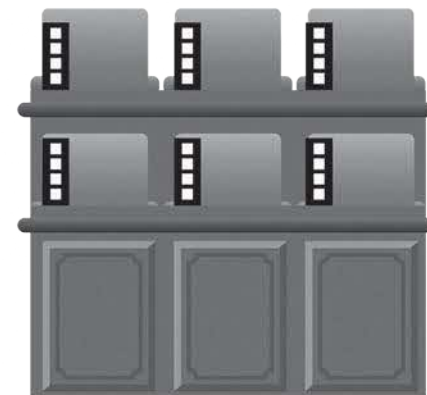
本会議や常任委員会は、誰でも傍聴することができます。
町民皆様に直結する身近な問題などが審議されていますので、ぜひ議会へ足を運んでみてください。

傍聴をご希望の方は、豊富町議会事務局までご連絡ください。

傍聴のご案内



議会傍聴特集



豊富高校3年生

6月定例会傍聴



6月21日に開催された、令和4年第2回定例会に、豊富高等学校3年生の生徒の皆さんが傍聴に来てくださいました。

今年も開催予定の「高校生議会」に向けて、まずは議会の様子を見学していただき、本番の臨場感や会議の進行について学んでいただきました。

傍聴を終えた生徒の皆さんより感想をいただきましたので、一部ご紹介します。

こちらをご覧ください！

令和3年度
高校生議会特集



令和3年度
高校生議会会議録



令和3年度
高校生議会議事日程



委員会



町の仕事は幅広く複雑であり、これを本会議の場で一つずつ議員が話し合って決めることは非常に難しく効率的ではありません。そこで、本会議を開く前に2つの会議を開き、「町がこれから行うこと」に対して議員が詳しく調べ、わからないことを質問したり、意見を述べたりして、前もって話し合いを行う場所を「委員会」と言います。

総務産業常任委員会

所属人数：9名

審査内容：条例の制定及び改正、事業や計画の提案など、各課の事務に関する事項について

予算決算常任委員会

所属人数：9名

審査内容：一般会計及び各特別会計・各企業会計の当初予算・補正予算・決算などについて

議員は会議ばかりに出席しているのではなく、政策研究や政策立案のため、他市町村に視察に行ったり、町内の現地視察を行ったりしています。

また、上記2つの委員会だけでなく、町民の要望、各種相談に応じる活動も議員の大切な仕事であるため「広報広聴常任委員会」という委員会や、本会議を円滑に運営させるための「議会運営委員会」、その他特定の内容について話し合う「特別委員会」が開かれています。

広報広聴常任委員会

所属人数：5名

審査内容：町民の意見・要望の収集、議会広報の作成など

議会運営委員会

所属人数：5名

審査内容：定例会及び臨時会の進行手順、一般質問についての申し合わせについてなど

※議長は各委員会に所属していませんが、オブザーバーとして出席しております。

まとめ

豊富町議会では、町民皆様の代表として日々活動しておりますが、議員が具体的に何をしているのかは日常生活を過ごす中ではあまり見えてきません。

議会活動が町民にわかりやすく、議会や町政が身近に感じていただけるような取り組みを目指し、今後も町の発展のために議員一同努力してまいりますので、引き続きご支援いただけますよう、よろしくお願いいたします。

みんなで学ぼう！議会のコト

本会議や委員会ってなに？

本誌P10とP11で議会の傍聴についてご紹介しましたが、そもそも「本会議」や「委員会」は何をすることなのでしょうか？

また、どちらも議会が町と話し合う場所であるのに、何がどう違うのでしょうか？今回は、それぞれの役割についてご紹介したいと思います。



本会議



町議会議員全員が役場庁舎内の議事堂に集まり話し合いをする場を「本会議」と言います。ここでは、議員が町に対して適切な町政運営を行っているかを確認するために、町長などへ報告や説明を求める「一般質問」を行う他、条例制定や予算についてなど「町がこれから行うこと」を最終的に決定する場所となっています。



しかし、豊富町議会では本会議が常に開かれているわけではなく、決まった時期（3月、6月、9月、12月）に町長が議員を集めて開いており、これを「定例会」と言います。

また、緊急を要し本会議を開くことを「臨時会」と言います。

気になるアノ人に聞いてみました!

看護師として
町民の健康を支える



重平 広也 さん (56歳・右)

山田 直人 さん (50歳・左)

道南から豊富町へ赴任し、豊富町国保診療所で看護師として地域医療に貢献されているお二人にお話を伺いました。

聞き手/佐々木政義・水戸部正博

—豊富町に来たきっかけを教えてください。

重平さん：訪問看護を辞めるときに、たまたま豊富町の求人を見つけ、地域医療にも興味があったため応募したことがきっかけで豊富町に来ました。

山田さん：私は、以前、重平さんと同郷で一緒に働いていたことがあり、重平さんに「豊富町で働いてみたいか」と誘われ、私自身も地域医療に興味があったので豊富町に来ました。

—現在のお仕事内容は?

重平さん：看護師として診療所の病棟に勤務しています。

山田さん：診療所の外来や外科、内科、その日によってバラバラです。最近は、訪問看護にも行っています。

—豊富町の魅力を教えてください。

重平さん：豊富町は道南に比べてとても涼しいです。昨年の夏は扇風機だけで過ごせました。

また、豊富温泉にも入りましたが、想像していたより油っぽくなく、湯冷めもしづらくて非常に良かったです。乾癬の知り合いに豊富温泉の入浴剤を贈ったところ見る見るうちに治ったと聞いて驚きました。

山田さん：道南にはない広大な土地やサロベツ原野の景色がとても綺麗だと思います。どこの国かなと思うほど、他では見られない景色だと思います。

あと、知人からサロベツベニソンの鹿肉のソーセージをいただきましたが、すごく美味しかったので見かけると自分でも購入しています。

—豊富町に必要なもの・不便なことはありますか?

重平さん：私は、運動が趣味なのですが、豊富町には運動施設がありません。近隣だと幌延町にあると聞いていますが、住んでいる地域に運動施設があれば気軽に通えて良いと思います。

山田さん：私は、電気自動車を利用しているのですが、豊富町には充電スポットがないので非常に困ります。観光地であれば、充電スポットを目指して移動する人もいますので、役場や観光スポットなど町内のどこかに設置されると便利だと思います。

—重平さん、山田さん、ありがとうございました!

議会からのお知らせ

皆さんの声をお聴きします!

議会へ「声」を届けませんか?

豊富町議会では、今後の議会活動への参考とするため、町民の皆様からのご意見・お問い合わせを受け付けています。

議会に対する疑問や改善すべきこと、町政についてなど、様々なご意見・お問い合わせをお待ちしております。

ぜひ、皆さんの率直な「声」をお聞かせください。

※お寄せいただいたご意見・お問い合わせは、議会とよとみでご紹介させていただく場合もございます。

ご利用方法

以下、いずれかの方法でご意見をご提出ください。

投 書 箱

役場のロビーに投書箱を設置しておりますので、投函してください。



議会投書箱「議会への声」

郵 送

下記住所にご送付ください。

〒098-4110

天塩郡豊富町大通6丁目 豊富町議会宛

メ ー ル

下記アドレスまで送信ください。

gikaijimukyoku@town.toyotomi.hokkaido.jp

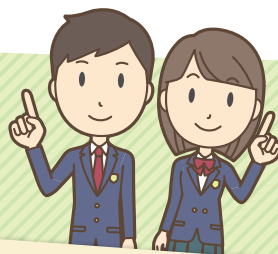
注 意 事 項

次の各号に掲げる情報内容が書き込まれているものについては原則としてお受けいたしません。

- ・個人情報の照会
- ・他人を誹謗中傷する内容
- ・営業メールやアンケート調査

＼ 高校生の声 ＼

豊富町の温かさ



豊富高校2年生

阿部 羽流さん



私が思う豊富町の魅力は、「住んでいる人たちの温かさ」だと思います。

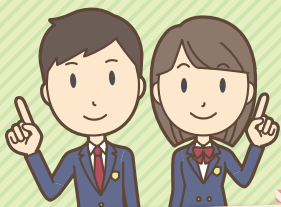
私は、16年間豊富町に住んでいるので、地域の方々の中にはお世話になっている人や家族の友人や職場の人など顔見知りが多いです。登下校中には「いってらっしゃい」や「おかえり」といった言葉をかけてくれたりもします。

私は高校生となりアルバイトを始めました。すると、お店に来るお客様から「もう高校生なの!？」や「アルバイト頑張ってるね!」と話しかけてくれ、慣れない仕事でもさらに頑張ろうという気持ちになることができました。

私はそんな「住んでいる人たちの温かさ」があるこの町が大好きなので、高校を卒業したら豊富町で就職をして、もっと地元を盛り上げていきたいです。

＼ 中学生の声 ＼

豊富町の魅力



豊富中学校3年生

山口 翔平さん

私は、豊富温泉と湯治留学制度に感謝しています。

私は、アトピーのために体中が痒く、日常生活すら送れなくなっていました。そんなときに豊富温泉について知り、藁にも縋る思いで豊富温泉に来たのです。最初は、本当に良くなるのかと不安でしたが、徐々に症状が改善し、半月が過ぎる頃には楽になったと実感できるほど良くなっていました。

私は、もうしばらくこの温泉にいたいと思い、湯治留学制度を利用して、豊富町に移住しました。

豊富温泉では、いろいろな皮膚病を患った方々と出会いました。自分以外にもたくさんの方が皮膚病に苦しんでいると知り、仲間が増えたような気持ちになりました。豊富温泉の魅力は、皮膚病の症状を改善するだけでなく、仲間を見つけられることだと思います。

私は、世界中の皮膚病患者に豊富温泉を広めたいです。貧富の差に関係なく多くの人に豊富温泉の良さを知ってもらいたいです。



次回定例会は

9月です

(9月中旬開催予定)

議会を傍聴してみませんか



議員は議場でどんな発言をしているか、どんなまちづくりを考えているのか、今後の町の方向性を直接聞くことができるいい機会です。ぜひ、お越しください。

豊富町議会広報誌
議会とよとみ 第240号

発行日/令和4年8月17日

発行責任者/議長 千葉 久

編集/広報広聴常任委員会

【豊富町議会事務局】

〒098-4110 北海道天塩郡豊富町大通6丁目

TEL 0162-82-1001 FAX 0162-82-2806